

# 校長室からつぶやき・・・ 『ツイート』新聞



宇美町立宇美南中学校  
第34号

文責 校長 熊本 寿美  
令和3年11月4日(木)



チャンプ本!



学級から選出されたバトルーのみなさん



予選を勝ち抜いた3名による決勝戦。見事チャンプ本に選ばれたのは、3年1組杉本梨領奈さん「流星の絆」(東野圭吾著)。3名とも説得力のある見事な発表でした。

今年も南中ビブリオバトルにバトルーたちが見事な表現力で熱弁を披露しました。この取組は、本町が目指す「本を大好きになる子どもを育み、意欲的に自ら考え豊かな心と表現力を育てる。」ことをねらいとして、国語科と関連した授業カリキュラムを編成し、全校生徒が一人1冊の書評合戦に挑んでいます。11月1日(月)には、その頂点を競い、各学級の代表生徒10名が、自分の言葉で主張点を明確にして本の魅力を紹介していました。初挑戦の1年生も大きな声で堂々と発表しており、自分の考えを伝える素晴らしい内容でした。また、参観者からの質問も積極的に行われ、内容が深まる質の高い大会となりました。

図書委員会のメンバーたちによる運営や準備等にも主体的な姿があり、責任感あふれる活動ぶりに本校の読書推進活動の活性化を感じています。



図書委員会のみなさん



読書推進活動  
南中読リンピック

1年1組トップでゴール

読書推進の貸出の取組では、早くも1年1組が最多となる貸出冊数を達成し、見事1位でゴールしました。学級のみなさんに、金メダルハチ公しおりが授与されました。現在も取組継続中です。新たな1冊に出会いましょう。



図書委員：金井さん・殿川さん



町民としての一票を投じました。

中学生が宇美町の魅力として捉えている「自然・笑顔・歴史」。7つの素案を真剣に読み、「これがいい」という一票をネット投票しました。宇美町の良さを知り、これから考える貴重な時間となりました。



「鍛えて・ほめて・励まして」 南中生のよさや頑張りが輝く学校づくり